

平成 21 年度 第 1 回技師長会議 議事録

開催日：平成 21 年 10 月 4 日（日）9 時 00 分より 10 時 00 分

場 所：県民ふれあい会館 301 中会議室 岐阜市藪田南 5-14-53 Tel (058) 277-1111

出席者：北村会長、永井副会長、山本副会長、西山常務理事、西村常務理事
各施設の技師長

議 長：永井副会長

議 題

1. 技師長会議開催の意図

各施設の技師長、責任者と連絡を密にして、技師会活動を理解していただき、多くの若い技師を研修会・研究会に出席させていただきたく、技師長会議を開催した（会長）。

2. 北村会長より「お詫びの言葉」

今回の平成 21 年度第 1 回定期総会での会計決算の不手際により不承認になった事について、会長よりお詫びの言葉があった。

3. 北村会長による会計決算についての経過説明

平成 21 年度第 1 回定期総会から本日の臨時総会に至るまでの会計決算の調査経過についてスライドプロジェクターを使って説明がなされた。※この内容は当日資料として配布された。

説明の要約は下記の通り。

- ①平成 19,20 年度の一般会計収入の内訳説明
- ②平成 19,20 年度の一般会計支出の内訳説明
- ③平成 19,20 年度の特別会計支出の内訳説明
- ④特別会計通帳 1807807 の出金の流れ
- ⑤平成 19 年度決算報告書の調査結果について
- ⑥今後の岐阜県臨床検査技師会としての方針

4. 山本副会長による現在の状況について報告

- ・現在の残高は 24 万 9000 円。
- ・10 月から 3 月までの必要経費として、事務所の運営費 150 万円、精度管理未払い分 116 万円、学術部未支払い分 12 万円がある。
- ・岐臨技の事業として今後、秋季拡大研修会と県学会の行事がある。
- ・この状況を踏まえた上でのご意見を頂きたいとの報告をされた。

5. 技師長からの意見と答弁

1) 今後の会計処理について事務員に行ってもらったらどうか。

- ・当面の 3 月までは会計は二人体制（種村事務員と山本副会長）で行う。
- ・毎月理事会の中で内部監査を行っていく。
- ・来年度は外部監査委員を導入する。

2) 精度管理の活動方法として、日臨技サーベイのデータを活用して行えば、経費は低く抑えられると思われるがどうか。岐臨技での精度管理事業内容を説明して下さい。

- ・岐阜県独自の精度管理調査と日臨技主体の標準化事業（日本全国で共通使用できる基準値設定の足がかり）を行っている。

- ・標準化事業は日臨技から補助金が入るが、岐臨技からの持ち出しもある。
- ・ボランティアで採血し、測定データを収集する。各県でも同様の測定データを日臨技に上げて、日臨技の基準値データとする計画をしている。全都道府県で行っており、岐阜県でも中心的な事業として行っている。

3) 使途不明金の補填について説明を求める。

- ・平成20年度の会計調査は済んでいるが、平成19年度の調査が進んでおらず、領収書等のつき合わせができていないということで、使途不明金はない。
- ・会計より不正は行っていないと聞いており、補填は行っていない。

4) 決算書が何回か訂正している理由の説明を求める。

- ・会計によると訂正を行っているうちに転記ミスをしてしまった。
- ・会計のミスを監査、執行部が発見できなかったことがつらい。

5) 240万のマイナスを今後どのようにするのか。

- ・今年の会費値上げでなんとかしたい。
- ・このあとの総会で審議したい。

6) 会報の発行数、配布部数を減らして経費削減をしたらどうか。

- ・貴重なご意見有難うございます。会報の件を含めて、いろんな削減案を講じて行きたい。

以上

議事録署名人

印

議事録署名人

印